

《海の幸》(部分) 1904年 重要文化財 石橋財団石橋美術館

AOKI SHIGERU, MYTH, SEA AND LOVE

よみがえる神話と芸術

没後100年


青木繁展

2011年 3月25日金 - 5月15日日

◎開館時間 / 10時～17時(入館は16時30分まで) ◎休館日 / 月曜日(5月2日は開館)
 ◎入場料 / 一般 1,000円(800円)、シニア(65歳以上)700円(500円)、大高生 500円(400円)、中学生以下無料
 ※()内は15名以上の団体料金
 ※前売券は、チケットぴあ、ローソンチケット取り扱い各店などにて600円で販売(Pコード764-468、Lコード85655)
 ※2011年開催の青木繁展・高島野十郎展・野見山昉治展のお得なセット券もあります(1,650円)。

【主催】石橋財団石橋美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送、【後援】久留米市、久留米市教育委員会、財団法人久留米文化振興会、福岡ユネスコ協会、NHK福岡放送局
 【協賛】日本写真印刷

九州新幹線・久留米駅開業記念


石橋美術館
 石橋財団

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015
 TEL 0942-39-1131 FAX 0942-39-3134
<http://www.ishibashi-museum.gr.jp>



青木 繁 展

AOKI SHIGERU, MYTH, SEA AND LOVE

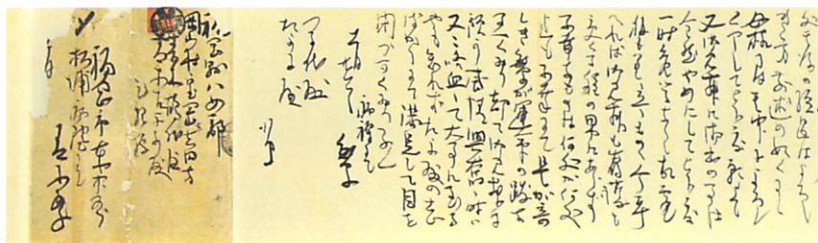
今年2011年は、青木繁が亡くなってちょうど100年目にあたります。28年と8ヵ月という短い生涯ゆえ、彼が残した作品はそう多くはありません。しかし、《海の幸》や《わたつみのいるこの宮》をはじめ、鮮烈な印象を与える作品を残しました。

このたびの展覧会では、全国の美術館、ご所蔵家の協力により、作品の他に、未公開のスケッチ類、友人らにあてた手紙なども多数展示します。さらに、彼の作品を後世に残し、広く知らせるために尽力した友人らの活動にも注目します。青木繁のあふれんばかりの創作へのエネルギーを感じとっていただくとともに、彼の作品が没後100年にわたり多くの人を魅了しつづけてきた秘密の一端に触れていただければ幸いです。



青木 繁 (25歳のころ)

- 1882(明治15)年 7月13日、福岡県久留米市荘島町に生まれる。
- 1899(明治32)年 中学明善校を退学、洋画家を志して上京。
- 1900(明治33)年 東京美術学校西洋画科退科に入学。
- 1903(明治36)年 白馬会第8回展に神話画稿を出品、白馬賞を受賞する。
- 1904(明治37)年 7月、東京美術学校を卒業。坂本繁二郎、福田たね、森田恒友と千葉県館山市の布良(めら)海岸に写生旅行に行く。その地で《海の幸》などを制作。白馬会第9回展に《海の幸》を出品。
- 1907(明治40)年 東京勧業博覧会に《わたつみのいるこの宮》を出品。父死去のため久留米に帰る。以後、九州各地を放浪する。
- 1911(明治44)年 3月25日、肺結核のため福岡市の松浦内科医院にて死去。



《鶴代、たよ子宛書簡(遺書)》1910年11月22日付 石橋財団石橋美術館

39年振りの大回顧展、総点数300点。

(油彩約70点、水彩・素描約170点、資料約60点)



	2	4	
1	3	5	7
		6	

- 《温泉》1910年 個人蔵
- 《大穴牟知命》1905年 石橋財団石橋美術館
- 《朝日(絶筆)》1910年 小城高校同窓会黄城会(佐賀県立美術館寄託)
- 《女の胸》1904年 個人蔵
- 《眼》1904年 個人蔵(梅野記念絵画館寄託)
- 《幸彦像》1907年 橋本県立美術館
- 《わたつみのいるこの宮》1907年 重要文化財 石橋財団石橋美術館



交通案内

- 福岡空港より西鉄久留米まで西鉄高速バスで約50分
- JR博多駅よりJR久留米駅まで特急で30分、快速で40分
- 西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
- JR久留米、西鉄久留米(3番のりば)より西鉄バス「文化センター前」下車
- 久留米インターより車で5分
- ※石橋文化センター内に有料駐車場あり

石橋美術館

石橋財団
〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015
TEL 0942-39-1131 FAX 0942-39-3134
<http://www.ishibashi-museum.gr.jp>

プレイベント 米倉斉加年 青木繁を語る
開催日/3月12日(土) 14:00~16:00 会場/エルガーラ 中ホール(福岡市中央区天神、330席)
聴講料/1,000円(学生500円) 主催/福岡ユネスコ協会、石橋財団石橋美術館 共催/NHK福岡放送局

- 美術講座**
- 4月9日(土) 「青木繁 実像と小説のあいだ」 渡辺 洋 氏(神戸大学名誉教授、「悲劇の洋画家 青木繁 伝」著者)
 - 4月16日(土) 「青木繁と日本前衛の〈前夜〉」 長田謙一 氏(首都大学東京教授)
 - 4月23日(土) 「青木繁の生涯と芸術」 植野健造(石橋美術館学芸員)
 - 5月14日(土) 「布良という聖地—《海の幸》が生まれた場所」 貝塚 健(プリナストン美術館学芸員)
- 会場/石橋美術館1階講座室(70席) 時間/14:00~15:30 聴講料/300円

ギャラリートーク 学芸員やボランティアが展覧会についてご案内します。
開催日/3/26(土)、27(日)、4/2(土)、3(日)、10(日)、17(日)、24(日)、5/7(土)、8(日)、15(日)
時間/14:00~14:20 参加無料(入館料が必要です)